

農業技術 プリズム

トルコギキョウの2度切り作型は、厳冬期を経て栽培するため燃油コストが高いうえ、出荷時期が6月に遅れると販売単価は急落し、収益性が大きく低下します。

そこで、日中は頂花発蕾（らい）期まで高温で管理し、夜間は開花期前まで日没後4時間を高温で管理すること（EOD-heating）により早期出荷と燃油コストを削減できる温度管理技術を確立しました。

品種「レイナホワイト」を9月1日に定植し、一番花の採花を12月9日に終了後、二番花の採花に向け、12月24日から頂花発蕾を確認する翌年4月4日まで、日中ハウス内温度35度で換

気する管理を行いました。一方、夜間は12月24日から開花期前の翌年5月7日まで、暖房機の設定温度を午後5時から9時まで18度とし、その後翌朝

気、開花期前までの夜間設定温度13度一定）と比べ収穫日は10日早くなり、5月末までの採花率は92・5%に向上。切り花品質は慣行と同等となりました。さらにEOD-heatingにより燃油コスト11・1%の低減が可能となります。

（農産園芸研究部門 池森恵子）

トルコギキョウ2度切り

温度管理技術確立で 早期出荷と燃油費減

7時までを10度以下で管理しました。この結果、慣行（頂花発蕾まで日中ハウス内温度27度で換

トルコギキョウ「レイナホワイト」の各試験区における
収穫日、5月末までの採花率、および切り花品質、燃油コスト

| 区名 | 収穫日 (月/日) | 5月末までの採花率 (%) | 切り花長 (cm) | 切り花重 (g) | 有効花蕾数 (個) | プラスチック花蕾数 (個) | 80cm調整重 (g) | 燃油コスト |
|---------------------|--------------|------------------|--------------|-------------|--------------|------------------|----------------|-------|
| 日中蒸し込み+EOD-heating区 | 5/26 | 92.5 | 89.3 | 151.6 | 6.3 | 0 | 130.4 | 88.9 |
| 慣行区 | 6/5 | 10 | 102.3 | 188.7 | 6.2 | 0 | 135.5 | 100 |

※収穫日：3輪開花した時点で収穫した平均日
※燃油コストは慣行区を100とした指数